

AVEAの基本的な使い方

成人/小児/新生児用 医療機器承認番号
人工呼吸器 215003260016000
米国 バイアス レスピラトリア社製



本社 048(988)4411 札幌 011(787)9010 仙台 022(392)6820 埼玉 048(988)4422
東京 03(5246)9461 横浜 045(534)1155 静岡 054(255)1278 名古屋 0561(63)7177
京都 06(6385)5233 大阪 06(6385)5205 岡山 086(241)9585 福岡 092(473)1871

この簡易取扱説明書には、基本的な使い方のみ書かれています。ご使用前には詳しい取扱説明書・添付文書・人工呼吸器チェックリストをよくお読みください。KT0183-1-02-2005.10.01-01

使用前の注意

人工呼吸器チェックリスト「1. 使用前の点検手順」による点検をしてください。

①	呼吸回路を別紙の「セットのしかた」のように接続	漏れないこと、接続のまちがいが無いこと、温度プローブが吸気側に入っていることを確認してください																
②	加温加湿器のチャンバに滅菌蒸留水を入れます	チャンバの「MAX」ライン以上に水を入れないでください。人工鼻を使う場合、使用前の点検がすべて終了してから使用前直前に所定部位に接続してください																
③	耐圧ホース(O ₂ /Air)を配管に接続します	Airから水が入らないことを、裏のウォータラップ(エア)で確認。1.4~5.5気圧の配管につないでください。空気、および酸素の耐圧ホースに破損やリークのないことを確認してください																
④	電源プラグを壁のAC100Vコンセントに差し込む	電源プラグやコードに破損などのないことを確認してください																
⑤	テストバックをつけ、本体、加温加湿器の電源を「ON」にし、右記の設定をします。その後、30分間、ウォームアップ	<table border="1"> <tr> <td>モード……………ボリュームコントロール SIMV</td> <td>呼吸回数上限……………200回/分</td> </tr> <tr> <td>換気回数……………12回/分</td> <td>分時換気量下限……………2L/分</td> </tr> <tr> <td>1回換気量……………0.5L</td> <td>分時換気量上限……………30L/分</td> </tr> <tr> <td>PEEP/CPAP……………0cmH₂O</td> <td>1回換気量上限……………3.0L</td> </tr> <tr> <td>ピークフロー……………30L/分</td> <td>低圧……………10cmH₂O</td> </tr> <tr> <td>フローリミット……………2L/分</td> <td>高圧……………60cmH₂O</td> </tr> <tr> <td>酸素濃度……………100%</td> <td>PEEP下限……………0cmH₂O</td> </tr> <tr> <td>吸入温度……………32~39℃</td> <td>無呼吸間隔……………20秒</td> </tr> </table> <p>ウォームアップ中にアラームや異常音や異臭がせず、電源が「OFF」にならないこと、Yピースで適正な温度にガスが暖められ、かつ十分な湿度があることなどを確認してください</p>	モード……………ボリュームコントロール SIMV	呼吸回数上限……………200回/分	換気回数……………12回/分	分時換気量下限……………2L/分	1回換気量……………0.5L	分時換気量上限……………30L/分	PEEP/CPAP……………0cmH ₂ O	1回換気量上限……………3.0L	ピークフロー……………30L/分	低圧……………10cmH ₂ O	フローリミット……………2L/分	高圧……………60cmH ₂ O	酸素濃度……………100%	PEEP下限……………0cmH ₂ O	吸入温度……………32~39℃	無呼吸間隔……………20秒
モード……………ボリュームコントロール SIMV	呼吸回数上限……………200回/分																	
換気回数……………12回/分	分時換気量下限……………2L/分																	
1回換気量……………0.5L	分時換気量上限……………30L/分																	
PEEP/CPAP……………0cmH ₂ O	1回換気量上限……………3.0L																	
ピークフロー……………30L/分	低圧……………10cmH ₂ O																	
フローリミット……………2L/分	高圧……………60cmH ₂ O																	
酸素濃度……………100%	PEEP下限……………0cmH ₂ O																	
吸入温度……………32~39℃	無呼吸間隔……………20秒																	
⑥	アラームの作動を確認し、患者さん用の換気条件とアラームを設定	テストバックをはずし、低圧と分時換気量下限アラームが作動すること、アラーム音量が充分なこと、他のアラームが正常に作動することを確認し、アラームと換気条件設定を患者さんに使う値に直してください																
⑦	酸素濃度を確認	モニタされる酸素濃度が、許容誤差内にあることを確認してください																
⑧	モニタ、蘇生バッグを用意	万一の作動不良に備え、手動式人工呼吸器(Ambu 蘇生バッグ)を患者さんのそばに準備し、警報機能付きパルスオキシメータ(SpO ₂)、カブメータ(EtCO ₂)などの生体情報モニタを併用してください																

使用中のチェックポイント

詳しくは、人工呼吸器チェックリスト「2. 使用中の点検手順」を参照

- 加温加湿器のチャンバの水がなくなる前に、「MAX」ラインまで滅菌蒸留水を補充してください。
- 設定温度や湿度で加温加湿器が安定して作動していることを確認。加湿を最適に保つため、チャンバ温度コントローラで蛇管の表面にうっすらと湿気がつくように調節してください。
- 加温加湿器のチャンバ出入口にひび割れないこと、呼吸回路のチューブやコネクタの接続がしっかりしており、ひび割れやリークのないことをチェックしてください。
- 蛇管に水が溜まる時は、定期的に排水してください。
- 人工鼻を使用している場合、交換時期になったら新品に交換してください。
- ネプライザを使用する場合、人工鼻や呼吸回路にフィルタは装着しないでください。装着した場合、目づまりを起こし、患者さんが健康被害を受けることがあります。
- 医師から指示された設定条件・アラーム値が維持され、正常に作動することを確認してください。
- 患者さんの胸の動きと波形と換気量を見て、所定の換気が行われていること、換気量・気道内圧などが設定と一致すること、異常音・異臭のしないことを確認してください。
- 酸素濃度が、許容誤差内にあることを確認してください。

電源をONにした後の操作

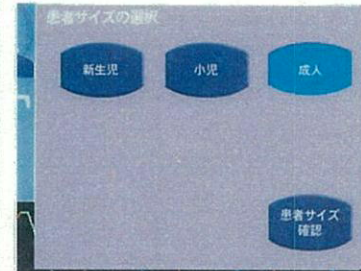
変更後は、必ず、ブロック画面に表示されているそれぞれの「確認ボタン」にふれてください。換気条件やアラームの場合、ダイヤルの左上にある「確認キー」を押してください。この操作をしない場合、設定は変更されません。

1 患者さん(新規・既存)の選択



- ① ① 新しい患者さんに使う時は、新しい患者さん にふれます。
- ② ② 既存の設定をそのまま使う時は、既存の患者設定を使用 にふれます。
- ③ ③ 患者確認 にふれ、選択を確定します。

2 患者さんのサイズの選択



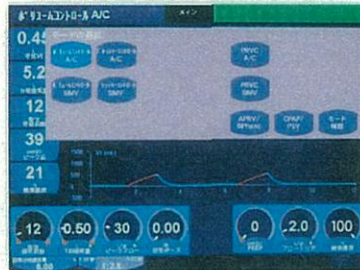
- ① ① ブロックの中から希望の患者さんを選択します。
- ② ② 成人では 成人 にふれます。
小児では 小児 にふれます。
新生児では 新生児 にふれます。
- ③ ③ 患者サイズ確認 にふれ、選択を確定します。

3 ESTの実施と加温加湿の選択



- ① ① EST にふれ、Yピースを塞ぎ、AVEAの機能点検をします。
- ② ② 加温加湿器を使う時は、加温加湿器 にします。
人工鼻を使う時は、加温加湿器 にふれ 人工鼻 にします。
- ③ ③ 設定確認 にふれ、選択を確定します。

4 モードの設定



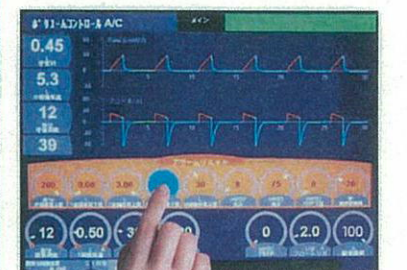
- ① ① 画面左上の換気モードが表示されている部分にふれます。
- ② ② 表示の中から希望のモードにふれ、ハイライト(青色)にします。
- ③ ③ 右端の モード確認 にふれ、選択を確定します。

5 換気条件の設定



- ① ① 設定するパラメータにふれ、ハイライトにします。
- ② ② パネルの右下にあるダイヤルを回し、数値を変更します。
- ③ ③ ダイヤルの左上にある 確認 を押し、変更を確定します。

6 アラームの設定



- ① ① 操作パネル右の アラームリミット を押します。
- ② ② 表示されたオレンジのブロック内の設定パラメータにふれます。
- ③ ③ ダイヤルを回し、数値を変更します。
- ④ ④ 確認 を押し、変更を確定します。